

# ◇◇◇◇◇ 適用題を作成する手順 ◇◇◇◇◇

## 学年( 2年 ) 教材文「 お手紙 」

教材文「お手紙」を例に、適用題を作成する手順について説明します。  
適用題は、学級の児童の実態や取り組む言語活動によって内容が異なってきます。  
各学級の児童の実態や取り組む言語活動の内容に応じて、児童に合った適用題を作成しましょう。

適用題作成準備シートはこちら

click

ステップ  
1

- ・児童に身に付けさせたい力を確認する（学習指導要領・教科書）。
- ・身に付けさせたい力を付けるためにふさわしい言語活動を設定する。

□児童に身に付けさせたい力を確認しましょう。

教科書の教材文のはじめのページに、身に付けさせたい力（指導事項）が示されています。学習指導要領の指導事項も確かめるとよいでしょう。

（例）「お手紙」

場面の様子について、登場人物の行動や会話を中心に想像を広げながら読む力。

□身に付けさせたい力を付けるためにふさわしい言語活動を設定しましょう。

まずは、教科書に示されている言語活動を行うことを考えます。学級の児童の実態や付けたい力に応じて言語活動を変更することも考えましょう。

（例）「お手紙」

音読劇をする。

## ステップ 2

- ・ **学習課題を設定**する（指導事項・思考操作・言語活動）。
- ・ **単元の指導計画**を立てる。

### □学習課題を設定しましょう。

この単元で身に付けさせたい力を明確に示すことにより、児童は何を学ぶ単元であるのかを常に意識することができます。また、学習を振り返る際も自身の学びや変容を自覚することにもつながります。

学習課題は、指導事項と思考操作、言語活動の3つを組み合わせることで下記のように設定します。

- A：指導事項→児童に身に付けさせる力を明確にする。
- B：思考操作→思考操作を具体的に決定する。
- C：言語活動→ふさわしい言語活動を設定する。

#### （例）「お手紙」

- A：だれが何をするのか、どんなことを言うのかに気を付けて読むことができるようになる学習をします。
- B：場面と場面、言葉と言葉を比べながら、
- C：がまくんとかえるくんになって音読劇の台本を書きます。

学習課題は、児童に提示し、単元を通して学習課題を意識しながら学習を進めることができるようにします。そのため、上記の3つを文章に書き表します。

#### （例）「お手紙」

この単元は、だれが何をするのか、どんなことを言うのかに気を付けて読むことができるようになる学習をします。

課題は、場面と場面、言葉と言葉を比べながら、がまくんとかえるくんになって音読劇の台本を書きます。

学習課題の設定のしかたについてはこちら

click

## □単元の指導計画を立てましょう。

学習課題の設定後，単元のゴールに向かってどのように学習を進めていくのかを考えます。学級の児童の実態や授業時数などを考慮しながら，計画を立てていきましょう。

### (例)「お手紙」

見通す	1	1 2	学習の見通しをもつ。 ・教師の範読を聞き，学習課題を設定し，学習の進め方を確認する。
自ら考える	2	3 4	教材文を読み，大まかな内容をつかむ。 ・場所の移り変わりに着目して場面を分ける。 ・二人の行動と会話を場面ごとに整理する。
自ら考える	3	5 6	音読したいところを決め，ノートに書き写して読み方や動きについて意見を伝え合う。
対話する	4	7 8	グループで音読劇の練習をして，読み方の工夫や動き方について意見を伝え合う。
対話する	5	9	友達の助言や教師が示したさまざまな読み方を聞き，音読の仕方によって受ける印象が違うことを知り，自分の音読の仕方を考え直す。
対話する	6	10	音読劇を発表し，評価を伝え合う。
対話する	7	11	登場人物が，書いてあることが分かっている手紙を長い間待っていた訳を考えて，話合う。
振り返る	8	12	学習課題を基に学習を振り返る。

## □適用題を作成してみましょう。

単元で行うことが決まったら、適用題について考えてみましょう。

適用題に使用する教材文は、これまでに児童が読んだことのある教科書教材を使うと、児童への負担を減らし、適用題に取り組む時間を短くすることができます。

適用題を作成するに当たり、気を付けてほしいことがあります。

例えば、言語活動として音読劇を行っても、児童の実態や先生方の手立てによって、取り組み方が異なります。取り組み方が異なれば、適用題も変わってきます。授業の中で、児童にどのようなことを考えさせたり、どのようなことを書かせたりするのかを踏まえて、適用題を作成しましょう。

### (例)「お手紙」

教材文「スイミー」を使って、音読劇の言語活動の場面を想定した問題です。

音読劇の発表会に向けて、音読台本を作成することとし、「お手紙」で学習した音読劇での台本作りを基に、指定した箇所の音読の工夫を書き込ませます。

適用題の例はこちら

click